



ブリンクマン・オーディオは1984年 ドイツ、ミュンヘン近郊のAchbergに、ヘルムート・ブリンクマンにより設立されました。

ターンテーブル、カートリッジ、フォノイコライザー、アンプと幅広いラインナップを擁し、いずれの製品も無駄のない機能的で美しいフォルムと圧倒的な高音質で、オーディオ各誌から高い評価を受けています。その完成度の高い設計から製品寿命が長いのも特徴で、創業以来継続的に改良が加えられ、未だに現行のモデルも存在します。

#### 完璧な音楽再生を目指して

完璧な音楽再生とは、一種のイリュージョン(錯覚)であるとブリンクマンは考えます。そのイリュージョンをリスナーに届けるためにブリンクマンでは、製品の設計において一切の妥協を廃し、できる限り全てのことをし尽くして完成度を高めています。

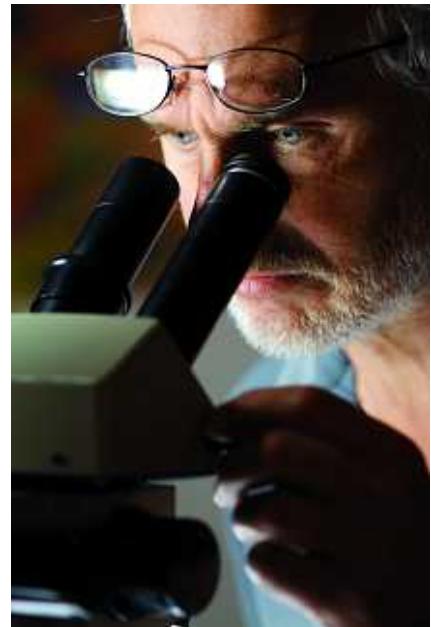
ブリンクマンにとって、“ハイ・フィデリティ”は音楽再生における最大の目標です。本当のハイ・フィデリティとは、プレイボタンを押した瞬間、あたかも目の前に演奏者がやってきて演奏をしているかのように錯覚することです。目を開けるとそこにはスピーカーとアンプしかなく、演奏者に手を伸ばしても触れることがないとわかっているにも関わらず、それを現実のことだと思ってしまう。それがブリンクマンの目指すイリュージョンです。

#### 全てのパーツが音に影響を与える

オーディオ製品を構成する全てのパーツは音に影響を与える、とヘルムート・ブリンクマンは考えます。科学的な根拠が現時点で見つかっていなかったとしても、音が変われば、それが事実であることを受け入れなければなりません。

よい製品を設計するためには、製品の構成要素をできるだけ少なくして、それらを徹底的に磨き上げることです。いかに小さなパーツといえども、全てが音に影響を与えるのです。そう、小さなネジのひとつに至るまで。

ある日、ヘルムート・ブリンクマンは顕微鏡を覗き、カートリッジのカンチレバーを調整する3つの小さなネジに気を留め(右写真)、自問しました。「その3本のネジはどれもスチール製だが、この状態が最適なのだろうか」、と。



彼はそのネジを、アルミニウム、真鍮、ナイロン、チタン、その他様々な素材のネジに変えてみました。そしてネジを変える度ごとに厳密なリスニングテストを行ったのです。実際、音が劇的に変化するのを聴き、彼は衝撃を受けました。結果、最も音がよかったのは“3つのネジのうちひとつだけをチタン製のものと交換したとき”でした。

完璧な音楽のイリュージョン、究極のハイ・フィデリティは、0.1%のインスピレーションと99.9%の発汗からなる執拗さと忍耐の連続が生む最適化のプロセスなのです。

#### プリンクマン製品のクオリティ

最新の工作機械で精密加工されたパーツを、手作業で丁寧に組み上げることによりプリンクマンの製品は作られます。これにより大量生産の呪縛から完全に逃れ、ただひたすら完璧なサウンドクオリティを持つ製品を作ることのみに集中することができるのです。プリンクマン製品の寿命が長いのはひとえに、あらゆる小さいことに対して細心の注意を払い、完璧な製品を作り上げようという意志の結果なのです。

プリンクマン製品は組み立てられた後、ヘルムート・プリンクマン本人による厳密なチェックを受けてはじめて出荷されます。最終テストに合格したものだけが、プリンクマンのブランドネームをつけることを許されるのです。

